

伊豆の国市に住む外国人の皆様へ日本の防災を伝え、多文化共生の地域づくりをしよう

チーム防災いずのくに×危機管理課

【事業目的】

- 外国から来た人が地域で安心安全に暮らすために、やさしい日本語を使用したかるた等を製作し、それらを使って日本の防災の周知を促すと共に、有事の際に国籍を問わずに協力し合えるまちづくりを目指すこと。

【事業内容】

- 通常の防災講座開催 ● やさしい日本語版防災かるた（試作品）でモニター体験会実施
- やさしい日本語版一時ひなん防災かるた等の製作
- 外国の方を対象に、やさしい日本語版防災かるた等を使用した防災の出前講座の開催（持ち出し品・自助・非常用トイレの講座）とその普及活動



【事業のようす】

- ・ 韮南小5年生の「防災キャンプ」にて、防災かるた・ふろしきを使った持ち出し品確認、新聞の再利用とスリッパ製作を実施。
- ・ 外国の方にも使えるように、「やさしい日本語版かるた」と「持ち出し品確認キット」を製作。製作過程で、外国人だけではなく、より年齢の低いお子様や障がいのある方にも活用していただけると気づき、実際に函南町社協様の依頼で障害のある方を対象にした講座で使用。（中央の写真）新聞スリッパも持ち出し品確認キットも「実際に手に取り行動する」ことで、より防災への意識が高まったように感じた。

【今後の予定】

新たに製作したものとこれまでのものを上手に活用し、外国人への防災講座の進め方をより確かなものにして講座の開催をしたいと考えている。

今年の夏は大雨での被害が全国的に大きな問題となっているので、ニュースになっているような「災害時の市民の困りごと」を、伊豆の国市ではひとつでも減らせるよう、幅広い世代に向けて、充実した防災講座を開催していきたい。